

人権作文コンテスト 入賞作品

最優秀賞

『ええところ』をよんで

北陵小学校1年 千々和 蘭さん



わたしはこの「ええところ」というほんのひょうしをみて、たのしいところがあったのかなと、おもいました。
このほんは、じぶんにええところがないとおもっているあいちゃん
が、ともちゃんにええところをおしえてもらい、じしんをもつはなし
です。

わたしがいちばん好きなところは、さいしよのあいちゃんが、はし
るのがおそいし、こえもちいさいとおも
っているところです。なぜなら、かわいそ
うだからです。

わたしには、あいちゃんにしているとい
ろがあります。わたしはせがひくです。
でも、しゅくだいはくいです。



みんな、それぞれがええところがあり
ます。だから、せんせいやともだちに
きいたらいいなとおもいました。わたし
は、ともだちのりんごちゃんに、「わたし
のええところはどこ」と、ききました。「らんちゃんのええところ
はかわいいところだよ」と、おしえてくれました。わたしは、ええ
ところがふえてうれしです。だから、わたしもりんごちゃんにええ
ところをおしえました。「りんごちゃんのええところは、いつもここ
にこしているところだよ」と、おしえました。するとりんごちゃんは
にことしてくれました。たぶん、ええところができたり、ふえたり
したからだとおもいました。だから、わたしもうれしくなりました。
このほんをよんで、わたしもともちゃんのようにやさしくともだち
とはなしたいとおもいました。また、みんなのええところをいっぱい
みつけてあげたいです。

優秀賞

『平和ってなあに』

桜が丘小学校2年 太田 幌さん



平和ってなにか。どういうことをいうのかな。ぼくは、いっぱい考
えました。そして平和ってしずかなことだと思いました。心がしずか
だと、学校やこつ園でみんなと遊んだり、いろいろなことができたの
しいと思いました。けんかやせんそうや、こわいこと、おそろしいこと
はおこらないと思いました。ぼくはしずかなのが好きです。



二つ目の平和って、どうぶがこわくない
ことです。てっぼうやばくだん、刀はこわ
いどうぶです。ぼくのまわりにはたのしい
どうぶしかありません。たとえば、えんぴ
つやけしこむ、おもちゃなど、まい日つかっ
ているものは安心できると思いました。

三つ目の平和って、すみやすいことだと思いました。人間やどうぶ
つ、虫や花などが安心して生きられることだと思いました。すみやす
くなかったら、ねむれないし、こはんも食べられないし、なにもできま
せん。赤ちゃんのときから、きけんなばしよにくらしたらだめです。
ぼくが考えた平和は、ずつとつづいてほしいと思いました。せかい
じゅうのみんなが、たのしくくらせるといいなと思いました。平和っ
て、大切なことだと思いました。

優秀賞

『戦争と平和』から考えたこと

桜が丘小学校4年 米島 蓮大良さん



「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花大事にするんだよ
う。」

これが、一番ぼくの心に残った言葉です。これは、戦争に行くお父さ
んが、むすめのゆみ子にさいごに伝えた言葉です。「幸せになっ
てね。」というゆみ子への思いがいっぱいつまっている言葉です。そして、
戦争が終わった十年後、ゆみ子はたくさんのお花を植えて、つつまれ
て、とても幸せそうです。お父さんの気持ちはゆみ子にとどいたと
思います。

このお話は、戦争がはげしかったころのお話です。そのころはチョコ
レートやおまんじゅうはなくて、いもや豆といったものしか食べられ
ませんでした。その苦しい中でも、主人公のゆみ子が力強く生きてい
くお話です。

ぼくは、4年生の二学期に、「はだしのゲン」を4回読みました。その
本から知った事があります。アメリカの飛行機B29から原子爆弾が
落とされました。人々は、皮ふが焼けて死んでしまったり、死なな
くてもひどいやけどで苦しんだりした人がたくさんいました。川では死
体がういていたそうです。落とされたあとは、「黒い雨」がふり、その
雨には、はいやけむりなど、いろいろ体に悪いものがふくまれていま
した。そして、その雨をあびると原爆症にかかってしまい、命を落とす
人がたくさんいたそうです。

ぼくは、「二つの花」と「はだしのゲン」を読んで戦争のおそろしさ
を知りました。戦争は人の命をつぶって、死ななくてもいい人を死な
せ、人々を苦しめるものだと思います。ひどいやけどをしたり、生き
残った人も原爆症にかかったり、やけどが残って「おばけ」と言われ、そ
れがいやで自さつをしてし
まったり、そんなこわいこと
が本当に起こっていました。
ぼくはもう、こんなこわいこ
とは起こってほしくないです。
だから、国同士仲良くしあっ
てほしいです。そうしたら、だ
れも戦争で苦しむことはない
と思うからです。



ぼくは、この夏、「平和」について考えることがたくさんありました。
8月6日は、広島に原爆が落とされた日です。今年は学校で戦争のお
話を聞きました。そして、ぼくは「平和」とは、戦争がないこと、ご飯を
食べられること、家族や友だちがいること、楽しいことがあることだ
と思いました。だから、今のぼくはとても幸せです。

これからは国同士が争わず支えていく世の中がいいです。争えば
国同士、仲が悪くなります。しかし、支え合えば、こまったときに助け
合える仲間になれると思うからです。そのためには、「人のことを知
ること」「国のことを知ること」が必要だと思いました。相手を知り、
相手の立場になつて考えるということです。

ぼくも、友だちや兄弟と意見があわなかったり、自分の言い分ばか
り言ったりして、けんかになることがあります。友だちも兄弟も好き
なのに、本当はけんかをしたくないのにしてしまいます。それは、自分
の意見だけを通そうとしてしまつからだと思います。だから、これから
は相手がどう思っているのかちゃんと聞いて、気持ちを知らりたいです。
そうやって、もっと仲良くなれたらいいなと思います。ぼくも自分の
生活の中で実行していきたいです。

今年度は、コロナ禍の影響により、コンテストの実施も
むずかしい状況でしたが、市内小学生の皆さんから
多数応募いただきました。
その中から入賞されました3作品をご紹介します。

